

平成 25 年度第 9 回（126 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 26 年 3 月 25 日（火）午後 2 時 30 分から

場 所：消費生活センター会議室 1,2

出席者：野島和季子、河原守、菊池義昭、小川弥栄子、菊谷隆、吉岡袈裟喜、山本強、鬼澤義信、星野芙美子、鈴木紀子、石津和幸、法性由紀枝、竹森菜摘、林光夫

事務局（市民協働係長、企画課主事）

欠席者：原田輝雄、長谷部勝也、真田美那子、車崎祥子、柴田正子、齊藤しのぶ

<配布資料>

- 1 平成 25 年度第 9 回（第 126 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 平成 25 年度第 8 回（第 125 回）清瀬市まちづくり委員会議事要旨
- 3 提案「経済特区への積極的参加」及び提案「清瀬駅北口に大きな公園を作って頂きたいです。」に対する回答（案）
- 4 提案「ペットボトル回収の機械化導入」資料
- 5 提案「清瀬市警察署の設立」資料
- 6 提案「緑のルール制定」資料
- 7 第 8 回まちづくり基本条例に基づく調査（案）

1 開会

2 前回の確認

委員長：前回の議事要旨について、この内容で良いか。

委員：訂正する必要がある文字があるので直してもらいたい。

委員長：訂正する。以上よろしいか。

<委員了承>

3 提案審議

委員長：小委員会のまとめを伝えたい。1年のまとめとして提言をあげたい。基本的には「見える清瀬市」として情報発信基地を設置したいと話が進んでいる。市内外に発信する場を駅前に作る内容を盛り込んだ提言にしたい。マップや刊行物について各委員の意見を取りまとめて次回委員に示したい。前回の提案「経済特区の積極的参加」と提案「清瀬駅北口に大きな公園を作って頂きたいです。」についての回答を確認してもらいたい。

<回答案を読み上げる。>

委員長：内容はよろしいか。

<委員了承>

委員長：次に前回より続いている案件についての添付資料を見ながら検討していきたい。提案「ペットボトル回収の機械化導入」についてどうか。

委員：清瀬市内にペットボトル回収機はないのか。

事務局：清瀬市内には無い。足立区、府中市、中野区である。

委員：商工会でペットボトルキャップを回収していたが、費用や手間がかかるので現在は行っていない。

委員：足立区はリサイクルを昔から市民が行っており、リサイクルの意識が清瀬市より高いと思う。

委員：費用としてはいくらかかるのか。

事務局：購入するとなると300万円ほどかかる。リースでも行える。

委員：利用や需要があると思う。現状の回収に係る費用と導入した場合のコストを比べれば良いと思う。

委員：経済産業省のモデル地区として行えば、費用の助成もあるのではないかな。

委員：現状どれだけの費用がかかっているのかの比較やごみ減量推進課の意見も聞きたいので次回までに資料を準備してもらいたい。次に提案「清瀬市警察署の設立」についての資料を見ながら検討してもらいたい。

委員：提案の文章に「市民に即した対応の出来る警察の有り方」とあるが、清瀬市に対して即した対応をしていないわけでもないと思う。

委員：やはり人口が少ないので、設置は厳しいのではないかな。

委員：清瀬は犯罪が少ないのも設置されない理由の一つであると思う。

委員：即していないのはどういった意味を指しているのか。

委員：清瀬で110番したら、埼玉県警に繋がる。そのようなことを指しているのだと思う。

委員：現在の清瀬市の人口や治安状況を考えると作るメリットは何かあるのか。

委員長：清瀬市は人口が少なく、犯罪も少ないので設置は難しい旨をまとめた回答で次回までに案を作ってくる。次に提案「緑のルール制定」について検討していきたい。

委員：みどりについて清瀬市は様々なことを指すので、別々のルールの方が良いと思う。みどりのルールを作るとなったら、清瀬市全体で考えていかななくてはいけない。ルールは必要であるが範囲が広すぎる。

委員：清瀬市ではみどりの基本計画は作成当時、有識者を募り、作成した計画なので参考にしても良い。

委員長：みどりの基本計画をもとに回答を作りたい。フォーラムについてであるが日程は5月17日の予定である。

事務局：例年フォーラムの前にリハーサルを行っている。フォーラムの週であるが、いつ行うか。

委員長：リハーサルは5月13日行いたいと思う。

次回4月22日、生涯学習センター講座室1にて14時30分より行う。また、1時30分より小委員会を行う。